

< 目 次 >

2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費

2 企画推進費

4 「ながさきで婚活」応援事業費 P 1

5 長崎開港 450 周年記念事業費 P 5

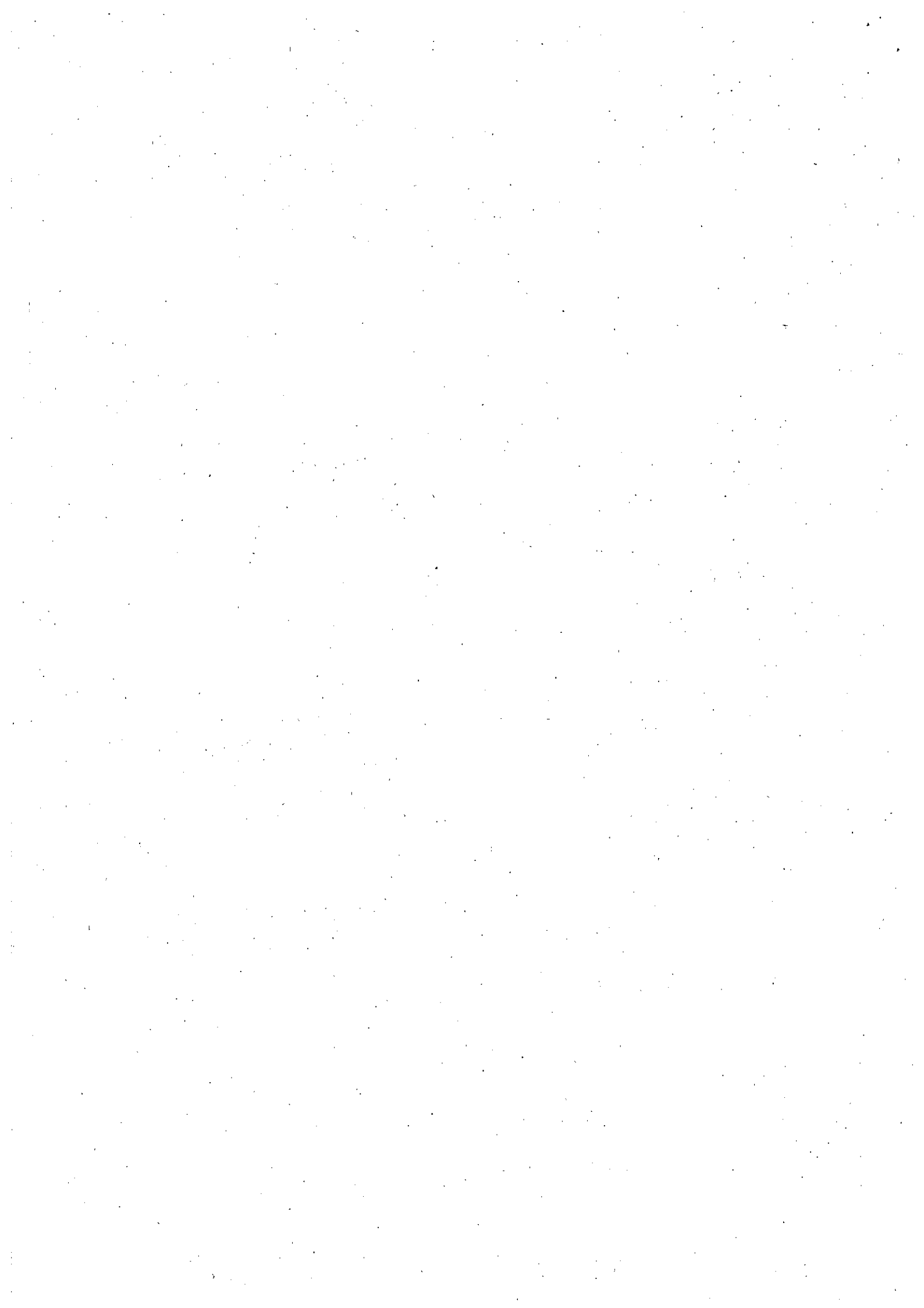
3 定住促進費

2 ながさきウェルカム推進費 P 11

7 【補助】新市庁舎建設事業費

1 新市庁舎建設工事等 P 14

2 市庁舎別館跡地整備 P 18



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
120～ 121	2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	2-4	「ながさきで婚活」 応援事業費	千円 1, 8 2 2

1 概 要

人口動態の要素である社会動態及び自然動態については、ともに減少の状態が続いており、そのうち自然動態については、平成 15 年以降、出生数が死亡数を下回ったことで減少に転じ、その後も減少の状態を拡大している。

出生数減少の要因の一つとして未婚化が推察されるが、その背景には結婚の希望はあるもののその実現に至っていない方々の存在があると考えられる。

そこで、結婚希望者本人やその親、企業等に対して結婚に関する意識啓発を行い、結婚希望者の希望の実現を図る。

2 現状と課題

平成 27 年の国勢調査に基づき未婚率を算出すると、未婚率は 30 代後半で 3 割以上おり、約 30 年間で 3 倍程度増加している。

一方、平成 30 年度に長崎市が行った「結婚・妊娠・出産・子育てに関する意識調査」によると、20 代ではいずれ結婚したいと考える方が 9 割以上いるが、この割合は年齢の経過につれて減少している。

したがって、特に結婚の希望が高い若い世代に対して結婚に向けた行動を喚起することは、結婚の希望実現に向けた後押しとなり、結果として、未婚率の改善にもつながるものとする。

3 令和 3 年度 of 取組み内容

結婚希望者本人やその親、企業等に対してセミナーの開催や情報発信を行い、結婚に関する意識の啓発を図る。

(1) セミナーの開催 800 千円

ア テーマ、対象者、内容

テーマ	対象者	内容
ライフデザイン	結婚希望者	結婚や妊娠・出産・子育てといった人生の未来（ライフデザイン）を具体的に想起させる
マリッジデザイン	結婚希望者	出会いから結婚までの道のりなど、特に結婚に特化したライフデザインを具体的に想起させる
親向け	独身の子を持つ親	結婚事情が親世代から大きく変わってきた中で、親が独身の子に対して効果的に行う側面的なサポートについて理解を深める
企業向け	企業の代表者や管理職、人事労務担当者等	結婚しやすい職場環境づくりや結婚を応援する機運を醸成する

イ 開催回数 各 1 回

(2) 情報発信 1,022 千円

ア SNS (Instagram、Facebook など) 広告を活用した情報発信

結婚希望者に対して、SNS のユーザー情報 (年齢、性別、居住地など) を基に、SNS 上でピンポイントにセミナー情報や近年の結婚事情等を発信する。

イ 商工会議所サービスを活用した情報発信

主に企業の代表者や管理職、人事労務担当者に対して、商工会議所登録企業へ配信できるメールサービスやチラシ配布サービスを活用して、セミナー情報や近年の結婚事情等を発信する。

ウ 市の広報媒体 (広報紙、テレビ等) を活用した情報発信 (ゼロ予算)

主に独身者の親に対して、広報ながさきやテレビ等の市の広報媒体により、セミナー情報や近年の結婚事情等を発信する。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
1,822	-	1,214	-	-	608

※地域少子化対策重点推進事業補助金 補助率 2/3

5 その他

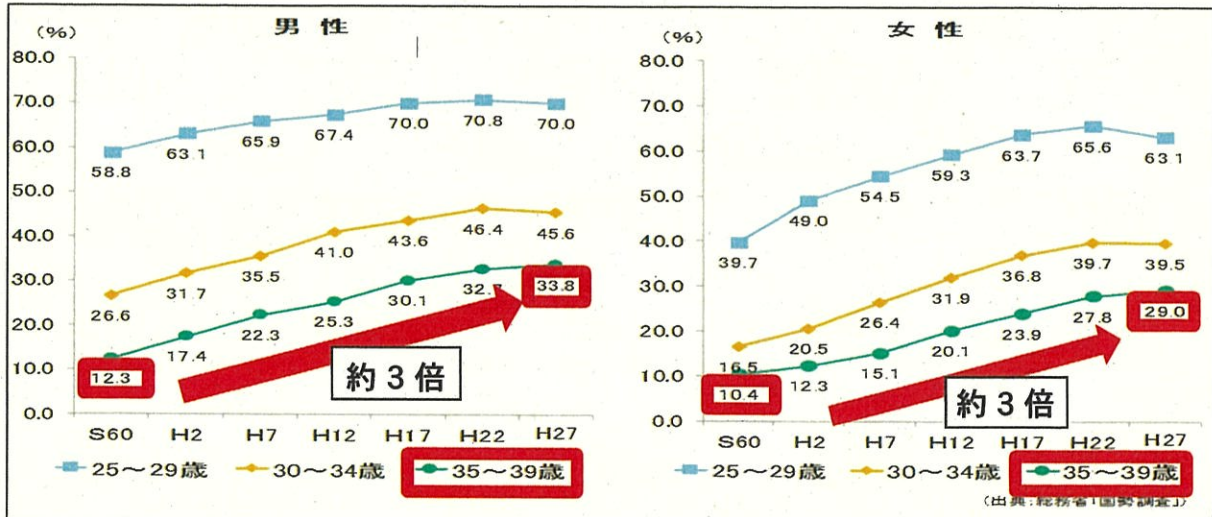
セミナー開催等のほか、引き続き、長崎県と連携し出会いの機会を提供する。

取組み	対象者	内容
お見合いシステム	<ul style="list-style-type: none"> 自分で相手を探したい方 相手に求める条件がはっきりしている方 	会員制のデータマッチングによるお見合いシステム。結婚を希望する独身者が自身のプロフィールを登録し、相手情報を閲覧してお会いしたい方への申し込みを行い、個別の引き合わせ、その後のサポートを行う。
婚活サポーター 縁結び隊	<ul style="list-style-type: none"> 誰かに背中を押してもらいたい方 アドバイスがほしい方 	長崎県が任命する「縁結び隊」が出会いや縁結びの支援を行うシステム。結婚希望者本人に対する支援のほか、親からの相談対応等も行う。
ながさきめぐりあい	<ul style="list-style-type: none"> 多くの方と出会いたい方 まずは気軽に始めたい方 	めぐりあいを応援する企業・店舗・NPOなどが企画・実施するイベント情報を、ウェブサイトやメールマガジン等で受け取ることができるシステム。
WizCon NAGASAKI	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と一緒に参加したい方 いろんな業種の人と出会いたい方 	異業種間でグループ交流ができるシステム。企業や団体内で独身グループを作成し、他のグループ情報を閲覧して交流したいグループへの申し込みを行い、様々な場所で交流ができる。

【参考】

1 未婚率の推移

全ての年代において未婚率は悪化している中、特に30代後半では男女ともに昭和60年から平成27年までの約30年間で3倍程度増加している。

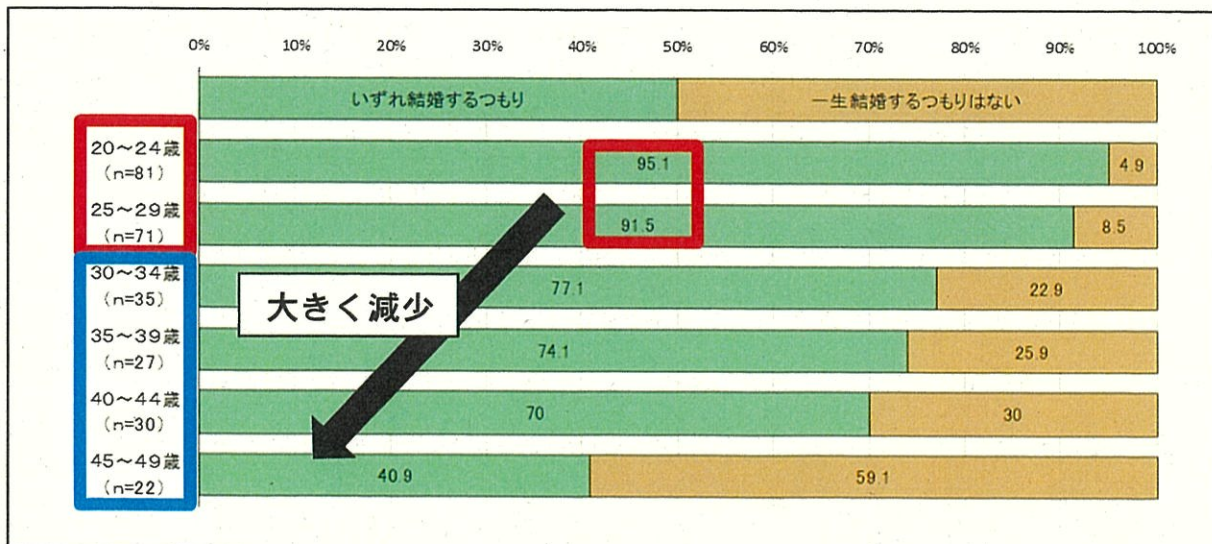


(出典：総務省「平成27年国勢調査」)

図1 未婚率の推移

2 年代別の結婚に対する考え方

20代では約90%が、いずれ結婚したいとの希望があるものの、30代では約75%、40代前半では70%、40代後半では約40%まで減少する。



(出典：長崎市「平成30年度結婚・妊娠・出産・子育てに関する意識調査」)

図2 結婚の希望の年代別割合

3 長崎市における社会動態（日本人）の状況

令和元年における日本人の転出超過は2,772人であったが、令和2年においては、2,025人であり、前年比で747人改善している。

この内訳は、転入者が563人、転出者が184人であり、いずれも改善している。

区 分	令和元年	令和2年	比 較
転出超過数	2,772人	2,025人	747人改善
転入者数	10,541人	11,104人	563人改善
転出者数	13,313人	13,129人	184人改善

※第1位 豊田市 ▲2,428 (▲1,959) 人
第2位 長崎市 ▲2,025 (▲2,772) 人
第3位 呉市 ▲1,862 (▲1,599) 人
第4位 佐世保市 ▲1,784 (▲1,443) 人
第5位 京都市 ▲1,617 (▲129) 人 () 内は令和元年

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
120～ 121	2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	2-5	長崎開港 450 周年記念 事業費	千円 65,000

1 概 要

1571年に長崎が開港して450周年を迎えることから、長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを、県民、市民が認識し、行動を起こす契機とするため、長崎開港450周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という。）が、長崎開港450周年記念事業を、令和3年度に実施する。

記念事業は、春にスタートアップイベント及び記念式典、夏にながさきみなとまつり、秋に長崎開港フェスタ450、冬に海洋シンポジウム（仮）と、季節ごとに柱となるイベントを実施するほか、県民・市民の団体への長崎開港450周年記念連携補助事業などを予定しており、今回これらの事業にかかる費用について、実行委員会に対し負担金を支出するもの。

2 実行委員会への負担金内訳

(千円)

項目	R2.11 補正	R3 当初	内容
スタートアップイベント 【4/23～27】	2,964	218	・長崎帆船まつりにおける記念ブースの設置
開港記念式典 【4/27】	1,850	961	・記念式典開催（会場使用料、MC制作者旅費、記念品代等）
長崎開港フェスタ450 【10/16～17】	—	25,286	・長崎開港フェスタ開催（運営委託、警備委託、パンフレット制作、会場設営等）
海洋シンポジウム（仮） 【R3.1.29 予定】	—	539	・長崎開港500年へのスタートイベント
長崎港の歴史・文化等継承事業	3,902	2,503	・小学校歴史パルコ巡回展 ・開港450周年デジタルスタンプラリー など
長崎港の魅力向上事業	1,644	3,948	・長崎港まちなかフォトスポット（マンガアニアパルコの設置） など
長崎開港450周年記念連携補助事業	—	10,000	・長崎開港450周年記念連携補助事業への補助金交付
広報事業	—	11,976	・広報、PR業務
記録事業	—	4,810	・開港450周年事業の映像記録及び報告書作成
事務的経費	1,295	4,759	・アンケート等で配布する記念グッズ購入 ・資料作成にかかる北代
計	11,655	65,000	

3 事業スケジュール

別紙参照。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※	地方債	その他	一般財源
千円 65,000	千円 -	千円 12,114	千円 -	千円 -	千円 52,886

※長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金 補助率4/10以内

ときめくみなと、つながるみんなと





長崎開港450周年

ときめくみなと、
つながるみんなと

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

春 感謝・愛
長崎港への感謝・愛を伝える

夏 港
長崎の海と港に親しむ

秋 まち
長崎のまちの原点を感じる

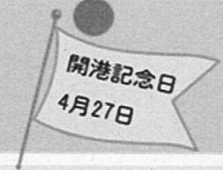
冬 未来
開港500年へのスタート

4月23日～4月27日
スタートアップイベント
4月27日
記念式典

7月31日、8月1日
ながさきみなとまつり
長崎開港記念会
ながさきみなとまつり実行委員会

10月16日、17日
長崎開港フェスタ
450(ヨンゴーマル)

1月29日予定
海洋シンポジウム(仮)



長崎開港450周年記念事業

主催事業

長崎港×歴史 小学校歴史パネル巡回展

長崎港×歴史 開港450周年デジタルスタンプラリー

長崎港×ときめき 長崎港まちなかフォトスポット

長崎港×ビジョン 長崎港の将来像策定

連携補助事業

- VRで長崎港を観光しよう(4-12月)
- 長崎八幡揚げ大会(4/4)【開催中止】
 - 「ながさき開港450周年史跡めぐり」(仮題)書籍出版(4月下旬)
 - 出島少年伝習所～観光丸編～(5-11月)
 - 親子体験学習 長崎UMIアカデミー(5-10月)
- 長崎開港450周年記念特別企画展「長崎とみなと(仮題)」(8-9月)
 - 海中探査ロボットで長崎の海をのぞいてみよう!!～組立式ROV教室とROV競技会(8/26,27)
 - 出島の魅力再発見演劇で綴る「出島物語」(9月)
 - Sea級グルメ九州大会inNAGASAKI(11/13予定)
 - 海洋教育フォーラム(12/18,19)

関連施策

官公庁等が長崎開港450周年記念事業に関連して実施するイベントなど

連携事業

実行委員会構成機関(官公庁等を除く)や企業、団体等が主催する事業

【長崎開港フェスタ 450】

1571（元龜2）年に長崎が開港したとき、当時、「長か（なんか）岬」と呼ばれていた岬の突端（現在の県庁跡地から万才町のあたり）に、6つのまちが作られた。その後、長崎のまちは港とともに発展し、長崎港は450年の永きにわたり私たちに恩恵を与え続けている。

長崎開港450周年に、長崎のまちの発展の原点である「長か岬」を県民・市民が訪れ、歴史を体感し、長崎のまちの始まりを再認識するため、この地を舞台として、長崎開港450周年事業を実施する。

■ 概 要

1571年に町建てが行われたエリアを中心として2日間、一部を交通規制し、「まちの原点を感じる」をテーマとした出展、イベントを展開。

■ テ ー マ

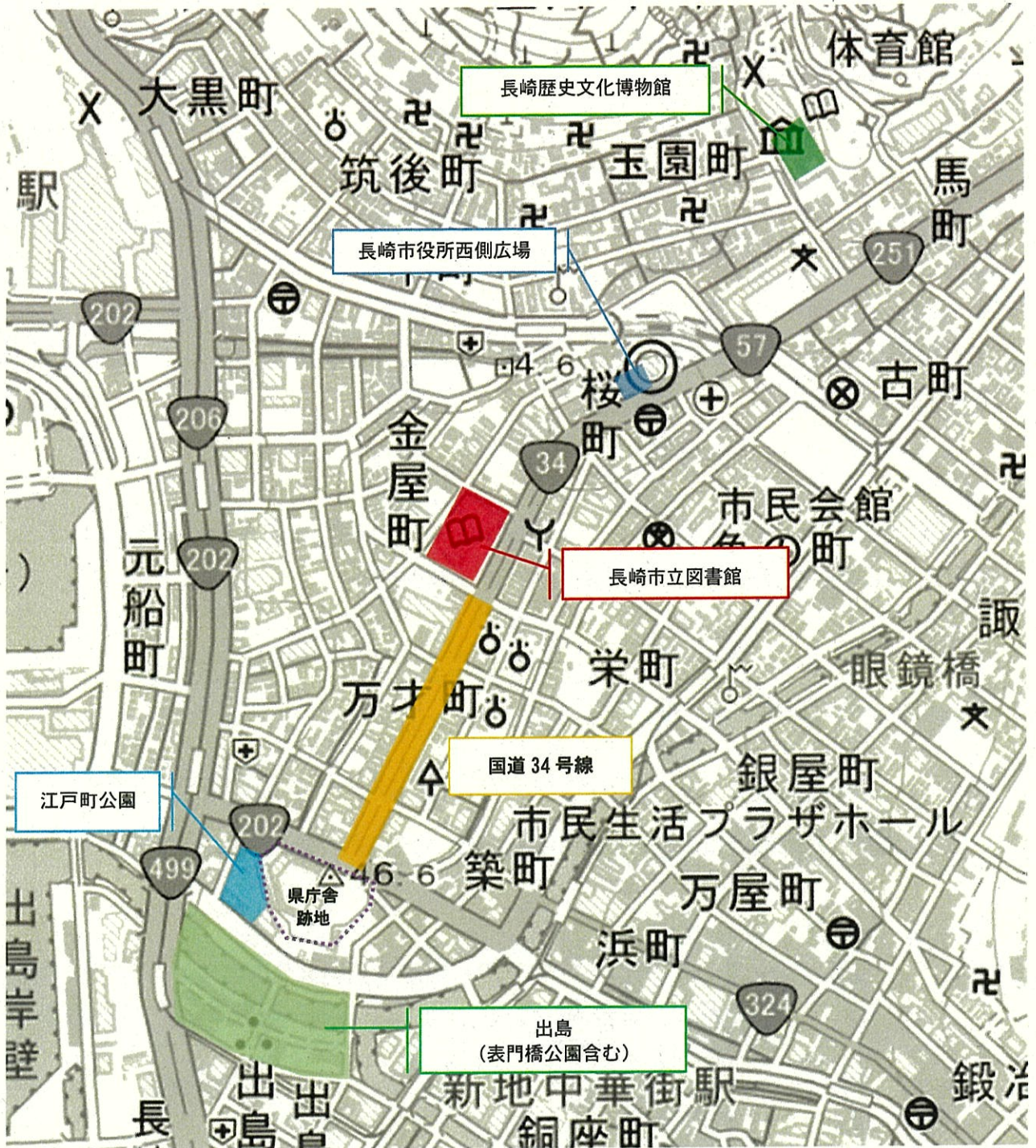
長崎のまちの原点を感じる。

■ 企 画

歴史民俗研究家の山口広助氏をプロデューサーに迎え、企画を行う。

■ 内 容

- | | |
|--------|--|
| (1) 会場 | 国道34号（万才町周辺）出島（表門橋公園含む）、江戸町公園、長崎市立図書館、長崎市役所西側広場、長崎歴史文化博物館など
※次ページ図面参照 |
| (2) 日程 | 令和3年10月16日（土）、17日（日） 2日間 |
| (3) 時間 | 11:00～17:00（2日間とも）
※実施時間帯は、企画内容、交通規制の状況により変動する可能性がある。 |
| (4) 内容 | ステージイベント、ワークショップ、展示、物販等を検討。地域の方、県民・市民、事業者等の主体的な参画を募り進める。 |
| (5) 対象 | 県民・市民・観光客 |



地理院地図（国土地理院）を加工して作成

※黄色部分を歩行者天国とし、実施内容に応じて時間帯による規制を検討します。

【長崎開港 450 周年記念連携補助事業】 10 件

実施時期 (予定)	事業名	団体名
4月～12月	VRで長崎港を観光しよう	特定非営利活動法人 Kanaloa (カナロア)
【開催中止】 4月4日(日)	令和3年度 長崎ハタ揚げ大会	株式会社 長崎新聞社
4月下旬発売	「ながさき開港 450 周年史跡めぐり」(仮題)に関する書籍出版	株式会社 長崎文献社
5月、10月	親子体験学習「長崎 UMI アカデミー」	長崎サンセットマリーナ株式会社
5月～11月	出島少年伝習所 ～観光丸編～	出島VOF 代表団体 長崎自動車 株式会社
8月～9月	長崎開港 450 周年記念特別企画展 「長崎とみなと(仮題)」	株式会社 イーズワークス
8月26日(木) 8月27日(金)	「海中探査ロボットで長崎の海をのぞいてみよう!!～組立式 ROV 教室と ROV 競技会～」	長崎総合科学大学 海洋・スポーツ文化センター
9月	出島の魅力再発見演劇で綴る「出島物語」	長崎市演劇協会
11月13日(土)	Sea 級グルメ九州大会 in NAGASAKI	みなとオアシス NAGASAKI 運営協議会
12月18日(土) 12月19日(日)	「長崎開港 450 周年記念 海洋教育フォーラム・～長崎から世界へ、海でつながる長崎と世界～石黒鎮雄博士がつなぐ英国と長崎(仮称)」	海洋教育フォーラム長崎地区 (長崎開港 450 周年記念海洋教育企画) 実行委員会

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
120～ 121	2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	3-2	ながさき ウェルカム推進費	千円 40,701

1 概 要

第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、社会減対策として「経済を強くし、新しいひとの流れをつくる」という目標を掲げ、魅力ある仕事づくりや移住の促進などの施策を展開している。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に地方移住の関心が高まっており、また、テレワークを経験し、柔軟で多様な働き方が大企業を中心に広まっている。

この機を捉えて、さらなる移住者を獲得するため、これまでの移住支援を拡充するとともに、将来的な移住者となりうる関係人口の創出・拡大へ向けてワーケーションの推進に取り組む。

移住者数の推移

年度		H30	R1	R2
移住者数	目標	—	200人	200人
	実績	92人	292人	229人 ^{※1}
相談件数	目標	—	1,000件	1,000件
	実績	400件	1,009件	896件 ^{※1}

※1 令和3年1月末現在

2 事業内容

(1) 移住希望者の相談対応

6,295千円

ア 「ながさき移住ウェルカムプラザ」の運営

移住に関するワンストップ窓口である「ながさき移住ウェルカムプラザ」を運営し、移住希望者の移住の実現に向けてきめ細やかな対応を行う。令和2年度はオンライン相談の体制を整えたが、令和3年度は新たにLINEを活用した相談対応を行うことで、相談体制の充実を図る。また、全国的な移住者とのマッチングシステムに参加することで、移住希望者との接点を増やし、移住相談の増加につなげる。

(ア) 設置場所 ホテルニュー長崎 1階

(イ) 相談時間 9時～17時（年末年始を除く毎日）

(ウ) 体制 相談員3人

イ 移住相談会への参加、移住相談会の開催

(ア) 大都市での移住相談会への参加

開催地：東京都、福岡市、大阪市、名古屋市、広島市等（全16回予定）

(イ) お盆・年末年始の帰省時期に合わせた移住相談会の開催
開催場所：長崎駅前周辺（全2回）

(2) 移住に関する情報発信 1,606千円

ア 移住支援ホームページ「ながさき人になろう」の運営
移住希望者に対して「仕事」「住まい」など移住に関する最新情報を発信するだけでなく、令和2年度から開始した長崎市の魅力的な「人」「コト」「場所」を実際に移住した方の視点で紹介するページを増やすなど内容の充実を図る。

イ 移住専門誌への記事掲載
全国的な移住専門誌に、長崎市の移住に関する情報及び長崎市への移住者の紹介を掲載することで、長崎市の魅力を発信する。

(3) 移住準備や魅力体験の支援 365千円

ア レンタカー貸出サポート、タクシーを使った案内
移住希望者の長崎市での移動を容易にするため、長崎市がレンタカー利用料を負担する。また、中心部などでは相談員がタクシーに同乗して案内を行う。

イ 民間宿泊事業者、グリーンツーリズム団体と連携したお試し移住【ゼロ予算】
ホテル等民間宿泊事業者の協力を得て、移住希望者が宿泊する場合に宿泊料金の割引などを行う。また、周辺地区で活動するグリーンツーリズム団体の体験プログラムや農泊を案内し、参加してもらうことで、周辺地区の豊かな自然や人の優しさなどの魅力を体験してもらう取り組みを行う。

(4) 移住者に対する支援 26,050千円

ア 移住支援補助金
地方創生推進交付金を活用し、東京圏から長崎市へ移住し、就業、創業を行うなど必要な要件を満たした方に対して補助金を交付する。令和3年度からテレワークを活用し、移住する方にも対応した制度へ変更する。

(ア) 補助額 100万円（2人以上の世帯）、単身：60万円（単身世帯）

(イ) 財源割合 県3/4、市1/4

イ 子育て世帯ウェルカム補助金
長崎県外から本市へ移住し、就業、創業を行うなど必要な要件を満たした子育て世帯の方に対して補助金を交付する。令和3年度からテレワークを活用し、移住する方にも対応した制度へ変更する。

(ア) 補助額 35万円（移住支援補助金の交付を受ける世帯は10万円）

令和2年度	令和3年度
単独 ・350千円×16世帯=5,600千円 移住支援補助金上乘せ分 ・100千円×6世帯=600千円	単独 ・350千円×47世帯=16,450千円

(5) ワークেশヨン※2 受け入れによる関係人口の創出・拡大 2,432 千円

ア ワークেশヨン・ネットワーク構築

ワークেশヨン受け入れに取り組む意向のある宿泊施設やコワーキングスペース等の事業者、団体等のネットワークづくりのための会議を開催する。以下の「ワークেশヨン事前視察受け入れ」及び「ワークেশヨンモニター」の取り組みで抽出した課題を会議の中で検討し、次の展開につなげる。

また、ワークেশヨンの専門家を招いた講演会を開催することで、ワークেশヨン受け入れの機運を高める。

イ ワークেশヨン事前視察受け入れ

長崎市の誘致企業を中心に、長崎市でのワークেশヨンをアピールするため、視察の受け入れを行う。視察旅費を負担し、来崎していただくことで、長崎市でのワークেশヨンの具体的なイメージを持ってもらうとともに、長崎市でのワークেশヨンの導入にあたっての課題抽出を行う。

ウ ワークেশヨンモニター

長崎市でのワークেশヨンのモニターを募集し、実際に長崎市に滞在してもらい、滞在にあたってのニーズの把握や課題の抽出を行う。

また、モニター自身に滞在中の様子を SNS 等で発信してもらうことで、身近な人への口コミによる PR を行う。

エ ワークスペース社会実験

長崎市の歴史を感じられる東山手地区の洋館に Wi-Fi 環境を整備し、ワークスペースとしての活用の可能性について社会実験を行う。

※2 「ワーク（労働）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語

(6) 事務費等 3,953 千円

会計年度任用職員（就職相談員）報酬費、消耗品費等

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※3	県支出金※4	地方債	その他※5	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
40,701	5,597	7,200	—	8	27,896

※3 地方創生推進交付金 対象経費（11,195 千円）の 1/2

※4 地域産業雇用創出チャレンジ支援事業補助金 移住支援補助金（9,600 千円）の 3/4

※5 保険料個人負担金

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
122～ 123	2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	7-1	【補助】新市庁舎建設事業費 新市庁舎建設工事等	千円 9,720,500

1 概 要

現在の市庁舎が抱える狭隘さや窓口の分散、耐震性能の不足、バリアフリーへの対応などの課題を解決し、質の高い行政サービスや機能を提供するため、新庁舎の建設を行うもの。

平成 30 年度に策定した実施設計を基に、令和元年度から建設工事に着手し、令和 4 年度の完成を目指している。

なお、本事業の予算は、平成 30 年 2 月市議会において、平成 30 年度から令和 4 年度までの「継続費」が承認されており、そのうち、令和 3 年度分の年割額の予算を計上するもの。

【計画概要】

敷地面積：6,710.30 m²

構 造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、免震構造

建築面積：4,022.69 m²

階 数：地上 19 階 (PH 1 階)、地下 1 階

延べ面積：46,228 m² (駐車場除く)

【継続費の内訳】

(単位：千円)

年 度	事 業 費	内 訳			
		工事費	設計関連費	関連調査費	その他
平成 30 年度	364,800	21,816	342,984		
令和元年度	2,509,900	2,369,884	100,888	36,633	2,495
令和 2 年度	4,830,300	4,774,800	43,032	10,241	2,227
令和 3 年度	9,720,500	9,118,100	88,832		513,568
令和 4 年度	7,680,900	7,262,900	38,864		379,136
合計	25,106,400	23,547,500	614,600	46,874	897,426

2 事業内容

(1) 新市庁舎建設工事費 9,118,100千円

ア 工事費内訳

① 建築本体工事 6,065,831千円

【工事概要】建築本体、建物周辺の外構・植栽等の整備を行うもの。

② 電気設備工事 1,233,673千円

【工事概要】電気設備、通信設備、太陽光発電設備等の整備を行うもの。

③ 空調設備工事 1,021,460千円

【工事概要】空調・熱源設備、換気設備、排煙設備等の整備を行うもの。

④ 衛生設備工事 543,030千円

【工事概要】衛生器具設備、給水・排水設備、消火設備、ガス設備等の整備を行うもの。

⑤ 内装ユニット工事 103,857千円

【工事概要】窓口カウンター、議場家具、案内サイン等の整備を行うもの。

⑥ 議場設備工事 89,093千円
 【工事概要】 議場、委員会室等の映像音響設備の整備を行うもの。

⑦ 無停電電源装置設置工事 61,156千円
 【工事概要】 停電時等でもシステムに安定して電源を供給する装置の整備を行うもの。

イ 工事期間 令和元年度～令和4年度

ウ 全体工事費 23,547,500千円

(単位：千円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
①建築本体	14,517	1,578,343	3,179,240	6,065,831	4,658,953	15,496,884
②電気設備	2,978	324,674	654,448	1,233,673	968,816	3,184,589
③空調設備	2,852	305,715	616,233	1,021,460	774,457	2,720,717
④衛生設備	1,469	161,152	324,879	543,030	412,580	1,443,110
⑤内装工	—	—	—	103,857	183,143	287,000
⑥議場設備	—	—	—	89,093	157,107	246,200
⑦無停電電源装置	—	—	—	61,156	107,844	169,000
合計	21,816	2,369,884	4,774,800	9,118,100	7,262,900	23,547,500

(2) 設計関連費 88,832千円

ア 委託費内訳

① 工事監理業務委託 72,832千円

【業務概要】

新庁舎は超高層建築に加え、免震装置や木質耐震パネル等の特殊な構造の建物であるため、高度な技術・知識がある外部の技術者による工事監理を行うもの。

施工者から提出される施工図、品質管理記録及び現場施工等を設計図書と照合し、出来形や品質管理が設計図書どおりに実施されているかを確認し、発注者へ報告するもの。

② 設計意図伝達業務委託 16,000千円

【業務概要】

工事施工段階において、設計のデザインや特殊な構造の仕様等を施工に正確に反映させるため、設計者が施工者に対して、設計意図の説明、助言、質疑応答及び検討等を行うもの。

イ 履行期間 令和元年度～令和4年度

ウ 全体委託費 614,600千円

(単位：千円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
実施設計等	318,000	19,000	0	0	0	337,000
①工事監理	20,484	59,388	43,032	72,832	31,814	227,550
②設計意図伝達	4,500	22,500	0	16,000	7,050	50,050
合計	342,984	100,888	43,032	88,832	38,864	614,600

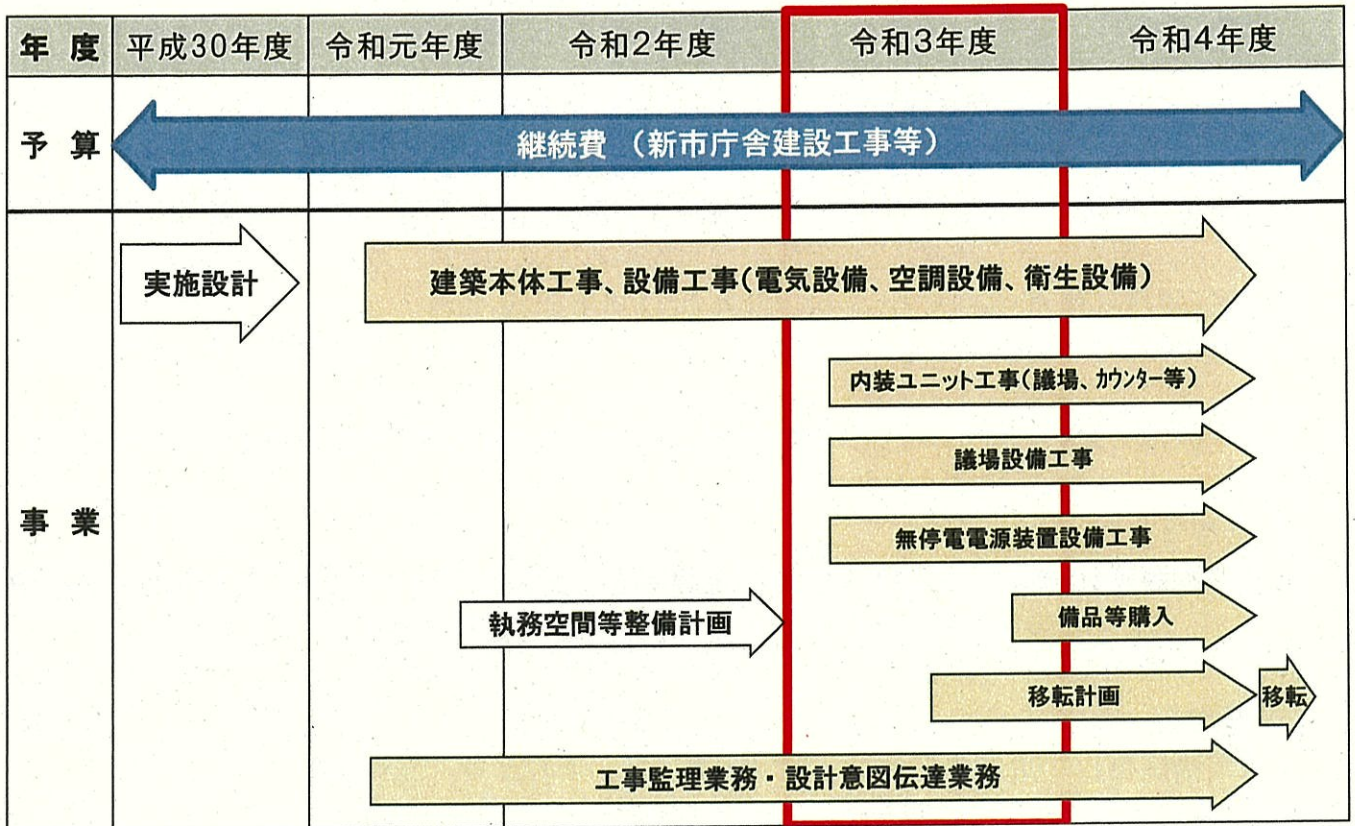
- (3) その他 513,568千円
- ① 移転業務委託 121,090千円
 【業務概要】 新庁舎への移転計画の策定及び移転業務を行うもの。
 【全体委託費】 211,000千円 (令和3年度 121,090千円、令和4年度 89,910千円)
- ② 映像音響設備等設置業務委託 48,780千円
 【業務概要】 新庁舎の各フロアに映像音響設備等を設置するもの。
 【全体委託費】 85,000千円 (令和3年度 48,780千円、令和4年度 36,220千円)
- ③ 備品等購入費 340,130千円
 【業務概要】 新庁舎の各フロアの机、椅子、キャビネット、集密書架、カーテンブラインド等の備品を購入するもの。
 【全体購入費】 592,700千円 (令和3年度 340,130千円、令和4年度 252,570千円)
- ④ 広報宣伝費 2,744千円
 【業務概要】 新庁舎の概要や工事の進捗等を市民等に周知するため、広報紙折り込みや建設現場仮囲いを活用した情報発信等を行うもの。
- ⑤ 事務費 824千円
 【業務概要】 OA 機器賃借料、会場借上げ料、消耗品費、旅費ほか

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
9,720,500	90,367	—	7,376,300	2,253,833	—

- ※1 社会資本整備総合交付金 90,367千円 (補助率1/3)
- ※2 公共事業等債 144,900千円 (充当率90%、交付税措置率22.2%)
 公共施設等適正管理推進事業債 7,231,400千円 (充当率90%、交付税措置率25%)
- ※3 市庁舎建設整備基金繰入金 1,261,929千円
 新市庁舎建設事業費負担金 (水道事業会計及び下水道事業会計) 991,904千円

新市庁舎建設事業スケジュール



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
122～ 123	2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	7-2	【補助】新市庁舎建設事業費 市庁舎別館跡地整備	千円 23,400

1 概 要

現市庁舎別館は、令和4年度に予定している新庁舎への機能移転後に解体し、跡地に都市公園及び公用車等駐車場を整備するもの。

このうち、公用車等駐車場については、令和元年2月議会において、令和2年度から令和3年度までの「債務負担行為」が承認され、令和2年度から基本設計・実施設計に着手しており、令和3年度は、引き続き実施設計を行うもの。

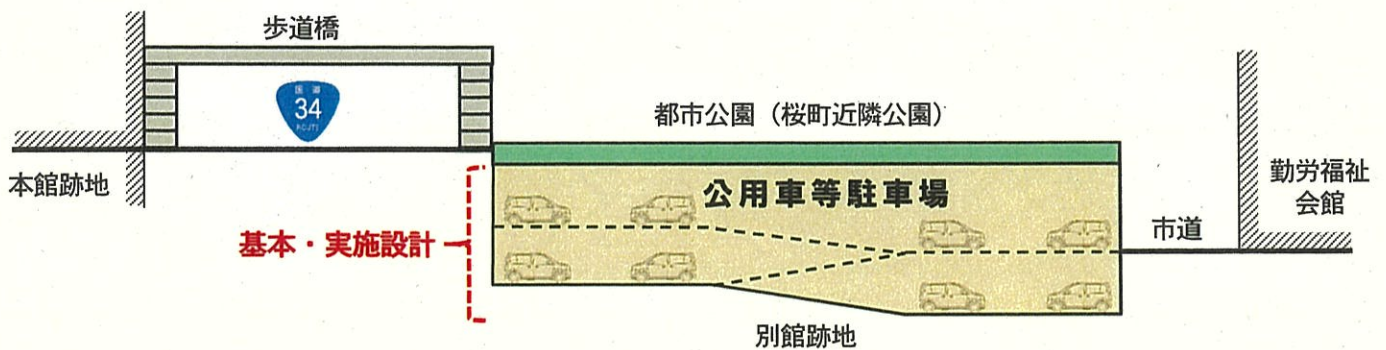
(1) 公用車等駐車場

構造：地下2層（都市公園の下部空間を活用）、収容台数：約170台

(2) 都市公園（名称：桜町近隣公園） ※今後、公園設計により詳細を決定予定

面積：約0.3ha（約2,800㎡）、

内容：広場、園路、トイレ、その他



【別館跡地整備の概略図】

2 事業内容

(1) 基本設計・実施設計 23,150千円

「公用車等駐車場」の基本設計・実施設計（解体設計含む）を行うもの。

【全体委託費】32,654千円（令和2年度：9,504千円、令和3年度：23,150千円）

(2) その他（事務費） 250千円

構造適合判定手数料

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
23,400	—	—	12,900	10,500	—

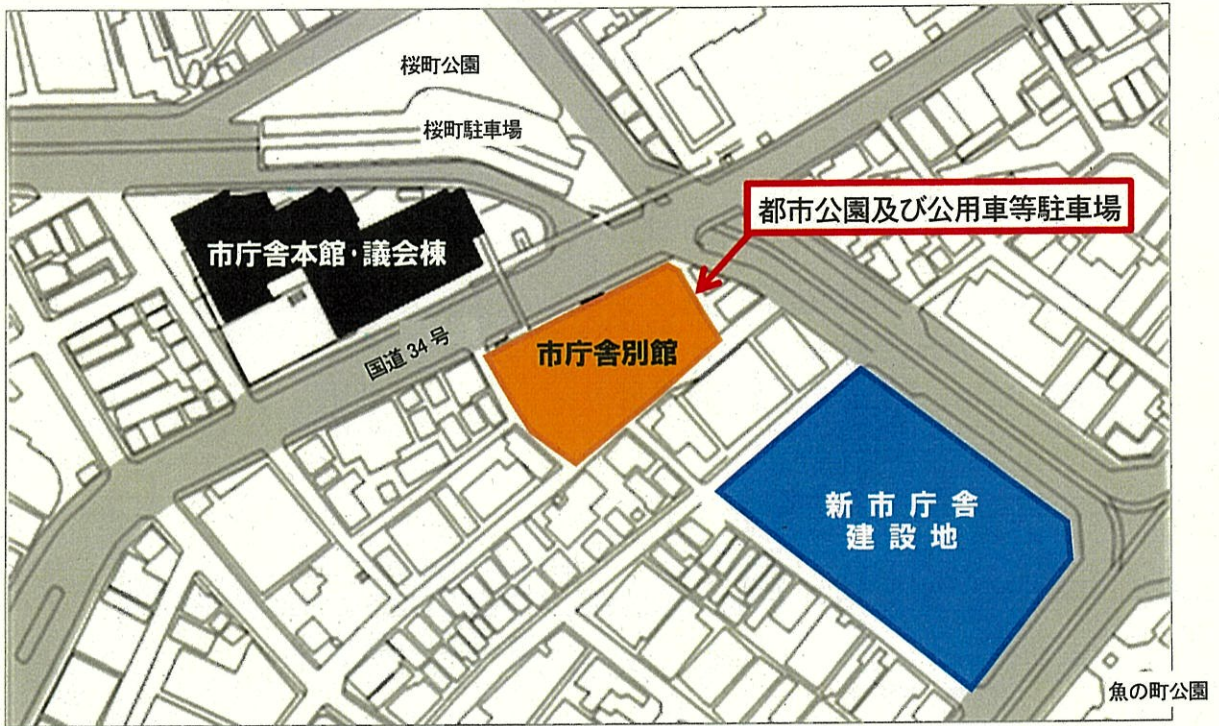
※1 公共施設等適正管理推進事業債 12,900千円（充当率90%、交付税措置率25%）

※2 市庁舎建設整備基金繰入金 8,090千円

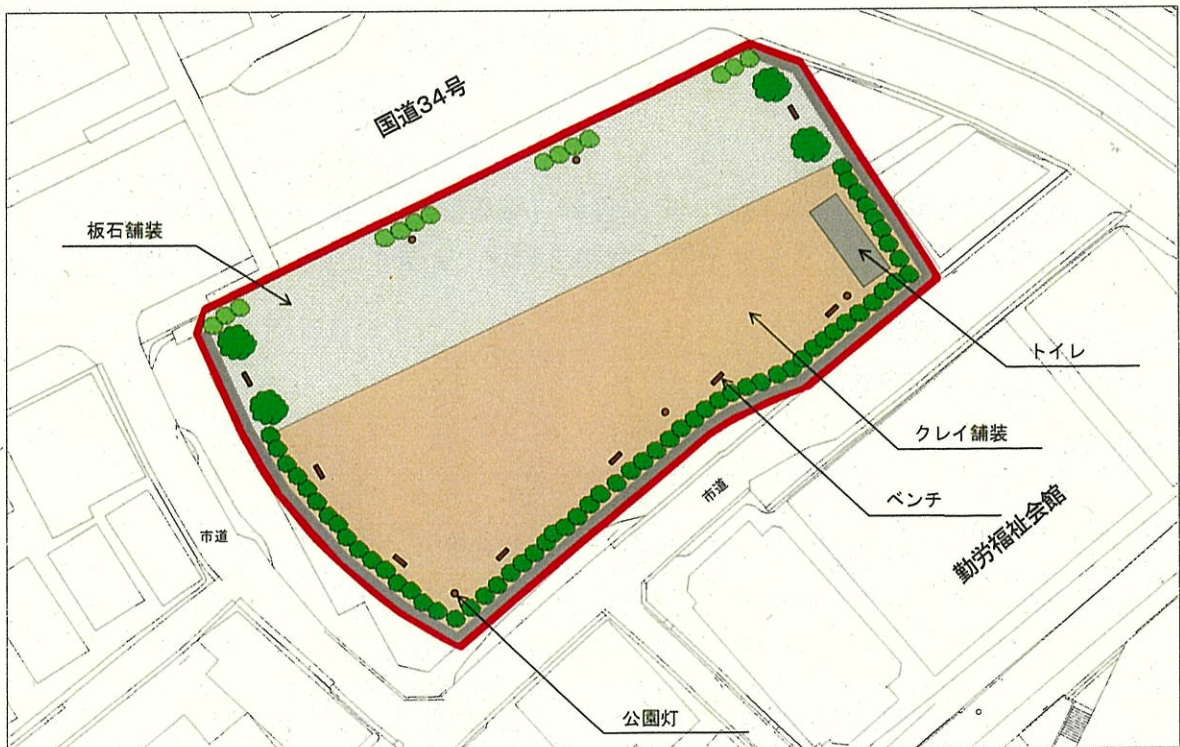
新市庁舎建設事業費負担金（水道事業会計及び下水道事業会計） 2,410千円

【参考】想定スケジュール

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
公用車等駐車場 設計						
都市公園 設計						
別館解体						
公用車等駐車場 工事						
都市公園 工事						



位置図



公園の整備イメージ (今後、公園設計により詳細を決定予定)